

一步前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

責任ある言葉で伝えていますか

ある話（うわさ）を聞いたとき、それが本当かどうか分からぬまま周りの人に広めるのはよくありません。たとえば、「〇〇さんが〇〇したらしいよ」と誰かが言っていたとしても、それが事実かどうか分からないのに他の人に話すと、〇〇さんはとても傷つきます。もし自分が間違った情報だったら、〇〇さんの信用を失わせてしまします。直接見たり、聴いたりしたとしてもそれが相手を傷つけることであれば、好ましい対応ではありません。



話をするのであれば、大人の仲裁役も入ってもらって会話するなどの対応を望みます。

さらに、「〇〇さんが〇〇したって、先生に叱られて泣いてたらしいよ」と、話に尾ひれをつけて広めると、うわさはどんどん大きくなり、元の話とは全く違うものになってしまいます。

こうしたうわさは、本人だけでなく、周りの人も不安にさせたり、学校の雰囲気を悪くしたりします。

言葉には力があります。言葉は人を笑顔にすることもできるし、反対に悲しませることもあります。だからこそ、友達に話すときは、やさしい言葉や思いやりのある言葉、美しい言葉を使うようにしましょう。たとえば、友達が失敗して落ち込んでいるときに「ドンマイ！次はうまくいくよ」と声をかけるだけで、相手の気持ちはずいぶん楽になるものです。

SNSでも同じです。「〇〇さんが来月で転校するらしい」といった根拠のない話を投稿すると、多くの人がそれを信じてしまうかもしれません。インターネットでは、たった一つの投稿が何百人、何千人に世界に広がります。だからこそ、正しい情報かどうかをよく考えて、責任をもって発信することが大切です。

根拠のないうわさを流さず、流されず、温かい言葉を選ぶこと。それが、みんなが安心して過ごせる学校づくりにつながります。あなたの言葉が誰かの心を温かくする力になることを願っています。